

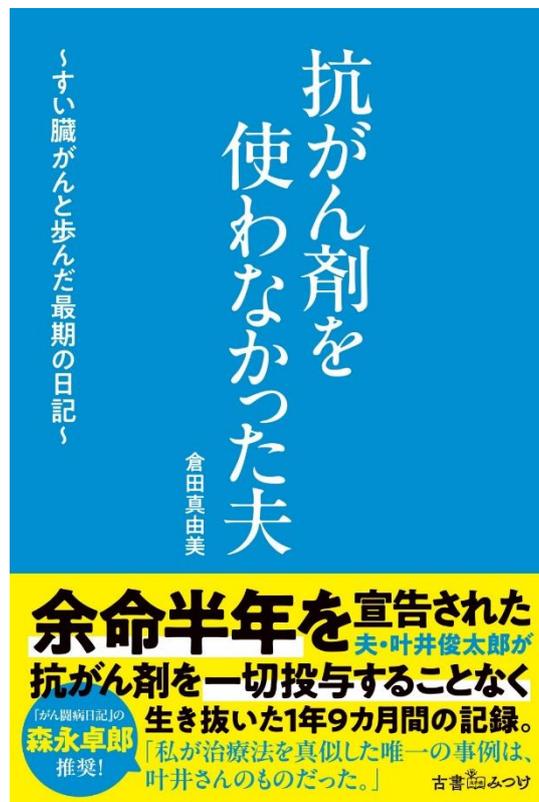
確固たる意志を買った夫の生き様を妻・倉田真由美が綴った渾身のエッセイ 『抗がん剤を使わなかった夫 ～すい臓がんと歩んだ最期の日記～』

叶井俊太郎さん一周忌前の2025/2/14発売

～オビ文は森永卓郎氏「私が治療法を真似した唯一の事例は、叶井さんのものだった。」～

日販アイ・ピー・エス株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：佐藤 弘志、<https://www.nippan-ips.co.jp/>）は、古書みつけ（株式会社伊勢出版、本社：東京都台東区、代表取締役社長：伊勢新九朗、<https://kosho-mitsuke.com/>）が発行する倉田真由美・著『抗がん剤を使わなかった夫 ～すい臓がんと歩んだ最期の日記～』を2025年2月14日（金）より、全国の書店、ネット書店等で発売します。

併せて、叶井俊太郎さんの一周忌にあたる2025年2月16日（日）には、ジュンク堂書店池袋本店にてトークイベントを実施します。叶井俊太郎さんはなぜ抗がん剤を使わなかったのか、そんな夫との日々を家族はどのように過ごしたのか、倉田真由美が語ります。



妻・倉田真由美が綴る、夫・叶井俊太郎が自ら選んだ死に方、そして生き方
『抗がん剤を使わなかった夫 ～すい臓がんと歩んだ最期の日記～』

<報道に関するお問い合わせ先>

日販アイ・ピー・エス株式会社 広報・PR 陳之内
EMAIL ips_media@nippan.co.jp TEL 070-1266-5332

■書籍内容

2022年5月、夫・叶井俊太郎の「顔や体が黄色くなる」ことから始まった、私たち家族と「すい臓がん」の記録。いまの日本において、「抗がん剤を打たない」という選択はほぼゼロに近いなか、叶井は抗がん剤を一切からだに投与することなく1年9カ月を生きた。

くらたまは言う。「自分の命や人生の在り方を決めるのは本来自分自身のはず。でも日本では一旦がんを発症すると自分の死に方、生き方が全部医者に丸投げになってしまうケースがほとんど。そうじゃない生き方ができること、何をして何をしないか自分で決めてもいいことに気付いて欲しくて筆をとりました。`自分で選べる、って当たり前のことを、知らないままの人が多くいます」。

「がんの王様」とされるすい臓がんにかかりながら、抗がん剤治療を受けなかった夫は、どのように生きたのか……まだどこにもそんな例がとりあげられていないなか、確固たる意志を貫いた生き様を、貴重すぎる家族の記録を、妻である倉田真由美が、自分の言葉で綴った640日間。

序
Prologue

2022年、5月上旬。
GWが終わった頃、夫が「お腹が痛い」と言い出しました。最初は、「食べ過ぎかな」程度にしか思っていませんでした。しかし、頻りに腹痛を訴えるようになり、また、そのころから肌が徐々に黄色くなってきました。
「肌の色がおかしい。黄色くなっている」と指摘したのですが、夫はとにかく気にしていませんでした。
しかし目が経つごとにどんどん濃くなり、夫は真つ黄色になりました。よく「どんな色ですか?」と聞かれるのですが、誰が見ても「黄色です」と言うくらい真つ黄色。白目までも黄色くなり、私だけでなく谷子の人や仕事相手からも指摘されるようになりました。夫は笑いのネタにしていますが、明らかに何かに身体に異常があるサインでした。

これは黄疸かもしれない。
専門的な知識はありませんが、なかなかの黄色信号だと思ったので、すぐさま病院へ行くように促しました。夫はアクセスの良きのと、通院したことがあるという理由で金沢近隣のやや大きいA病院を診しました。

診断結果は胃炎。
「でも、肌が黄色いし、これ黄疸じゃないですか?」
夫は医師に質問したのですが、
「黄疸の黄疸だったら死んでいるような色だから。それほどまでに黄色いなら黄疸ではないです」
まったく意味のわからない診断をされました。それほど黄色いなら本来は黄疸を疑ってしるべきなのに、「腹痛と下痢があるから胃炎」とは。
また、「一般的に黄疸の診断するには血液検査をしますが、このとき血液検査はされませんでした。されたのは、レントゲン検査だけ。
レントゲン検査の結果、「特段問題はなし」と診断され、胃炎の薬が処方

003 # Prologue

002

■著者 倉田真由美 Profile

1971年福岡生まれ。一橋大学商学部卒。「ヤングマガジン」ギャグ大賞で漫画家デビュー、代表作は「だめんず・うお〜か〜」。近著に「凶母(まがはは)〜小金井首なし殺人事件16年目の真相」「お尻ふきます!!」。



■出版記念トークイベント情報

開催日時：2025年02月16日(日) 13:20開場 14:00開演
登壇者：倉田真由美(漫画家・エッセイスト)
会場：ジュンク堂書店池袋本店 9F イベントスペース

<報道に関するお問い合わせ先>

日販アイ・ピー・エス株式会社 広報・PR 陳之内
EMAIL ips_media@nippan.co.jp TEL 070-1266-5332



■商品情報

商品名 : 「抗がん剤を使わなかった夫 ～すい臓がんと歩んだ最期の日記～」
ISBN : 978-4-9912997-3-5
発売日 : 2025年2月14日
サイズ : 四六判/208ページ(予定)
価格 : 1,650円(税込)
発行所 : 古書みつけ
販売元 : 日販アイ・ピー・エス株式会社

■会社概要

社名 : 日販アイ・ピー・エス株式会社 (NIPPAN IPS Co., Ltd.)
URL : JP <https://www.nippan-ips.co.jp/>
所在地 : 東京本社 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-3-4
設立日 : 1994年(平成6年)12月21日
資本金 : 1億
代表者 : 代表取締役社長 佐藤弘志(さとう・ひろし)
従業員数 : 97名(2024年3月31日時点)
事業内容 : 出版流通代行業業、輸出卸売事業、輸入卸売事業、
海外駐在員サポート「CLUB JAPAN」事業

<書籍『抗がん剤を使わなかった夫』販売に関するお問い合わせ先>

日販アイ・ピー・エス株式会社 出版事業部 野口

EMAIL ips_shuppan@nippan.co.jp

<報道に関するお問い合わせ先>

日販アイ・ピー・エス株式会社 広報・PR 陳之内
EMAIL ips_media@nippan.co.jp TEL 070-1266-5332